

報道関係各位

平成 18 年 7 月 26 日

**ソーバルが、早稲田大学環境総合研究センターにRFID技術を供与
省エネルギーを目的としたモニタリングシステムの産学共同研究事業を開始**

ソーバル株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：推津順一）は、早稲田大学環境総合研究センター（所長：永田勝也理工学術院教授）にソーバルのRFID技術を供与し、産学共同研究事業を開始いたします。早稲田大学環境総合研究センターでは、安全・安心な廃棄物処理施設の操業管理を実現する手法のひとつとして、RFID技術の活用を検討しています。ソーバルはこの事業にRFID技術を供与することによって、安全社会の実現、環境問題の解決に貢献すると同時に、あらたな市場開拓とRFID技術の向上に期待しています。

■廃棄物処理システムの安全・安心

近年、廃棄物処理施設において事故・トラブルが発生し、施設操業者が危険にさらされるだけでなく、近隣住民が安心して生活できる場が失われているという社会的問題があります。早稲田大学環境総合研究センターは、技術者の視点からこの問題解決に臨み、安全そして安心な廃棄物処理システムの構築を目的とした取り組みを開始しています。当面の実験課題として、早稲田大学内の施設をモデルに人の入退室管理を行い、人の所在を把握し、同施設の省エネルギー化を検討するための支援ツールとして活用します。

■ソーバルのRFID技術

ソーバルは、耐環境型RFIDリーダ・ライタをはじめ、導入に必要なハードウェア、ソフトウェアと、経験豊富なエンジニアを有しています。これらを活かして、導入検討から、設置保守までを行うワンストップソリューションとして「ソーバルRFIDプロフェッショナルサービス」を展開しています。13.56MHzのHF帯、UHF帯、可視光ICタグなどの研究開発を行っており、常に最先端のRFID技術に取り組んでいます。

一般の方からのお問合せ先
ソーバル株式会社 ワイヤレス事業部
担当 飯田
hiroshi_iida@sobal.co.jp
TEL: 03-3759-7376 FAX: 03-3759-7381

報道関係の方からのお問い合わせ先
ソーバル株式会社 広報室
担当 西岡
nishioka@sobal.co.jp
TEL: 03-5482-1222 FAX: 03-5482-1225